

短期予報解説資料 2024年12月21日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 渤海付近に 500hPa -33°C以下の寒気を伴った 5400m 付近のトラフがあつて南東進。対応して、日本海中部にある低気圧が東北東進。低気圧周辺の日本海側では、大気の状態が不安定となっていて、1 時間におよそ 10mm の雨量を解析、雷を検知。
- ② 西日本太平洋側～南西諸島付近では、地上の気圧の谷の場となっていて、1 時間におよそ 20mm の雨量を解析。
- ③ アムール川下流付近には 500hPa で -39°C以下の寒気を伴った 5100m 以下の寒冷渦があつて、南南東進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1 項①の寒気を伴ったトラフは、21 日夜には本州付近に進む。1 項①の低気圧は、21 日朝に東北地方付近に進み、21 日夜には千島近海へ進む。
- ② 2 項①の寒気を伴ったトラフの接近に伴い、21 日朝までに四国の南で新たに低気圧が発生する。この低気圧は、21 日夜には前線を伴いながら関東の東へ進み、22 日は急速に発達しながら日本の東を北東進し、日本付近は23 日にかけて冬型の気圧配置が強まる。北～東日本では 500hPa -30°C以下、850hPa -9°C以下、西日本でも 850hPa -6°C以下の強い寒気が流入し、大雪となる所がある。北～西日本では22～23 日は、大雪による交通障害に注意・警戒し、着雪、なだれに注意。
- ③ 21 日は日本海～東北地方に地上のシアーラインが発生し、22 日にかけて日本海を南西進する。一方、1 項③の寒冷渦は21 日に沿海州付近へ南下し、22 日にかけてオホーツク海へ東進する。対応して、22 日は日本海北部に地上のシアーラインが発生し、23 日にかけて北日本を通過する。地上のシアーライン周辺や 2 項①と②の低気圧周辺では、下層暖湿気と上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となる所がある。北～西日本では23 日にかけて、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 2 項①～②の低気圧、2 項②の冬型の気圧配置、2 項③の地上のシアーラインの近傍では、23 日にかけて気圧の傾きが大きくなり、強い風や局地的に非常に強い風が吹いて、波が高くなりしけとなる所がある。全国的に23 日にかけて、強風や高波に注意。北～西日本では22～23 日は、風雪に注意。

3. 数値予報資料解説上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- 4. 防災関連事項【量的予報等】
 - ① 雨量(06 時からの 24 時間)：多い所(100mm 以上)はない。
 - ② 降雪量(06 時からの 24 時間)：中国 40、東北・東海・近畿 30、北陸・関東 20 cm。
 - ③ 波浪(明日まで)：東北・北陸・伊豆諸島 5、その他広い範囲で 3～4m。
 - ④ 高潮(明日まで)：東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「大雪に関する全般気象情報」を 05 時頃に発表予定。